

勸告	説明図表番号
<p>(2) 運送事業者監査総合情報システムの活用</p> <p>【制度の概要】</p> <p>国土交通省は、効率的かつ効果的な監査の実施を図る観点から、監査の際に事業者情報を検索及び閲覧できるよう、道路運送事業者の情報を蓄積する「運送事業者監査総合情報システム」（旧称「道路運送関係行政情報システム」。以下「監査情報システム」という。）を平成19年3月から運用している。</p> <p>監査情報システムは、国土交通省本省及び各地方運輸局等をネットワークで接続しており、各地方運輸局等が、道路運送事業者の事業者名、電話番号、営業所名称、処分状況等のデータの更新を行っている。これらのデータは、国土交通省本省及び地方運輸局等の監査業務において、監査対象事業者を決めた後の事業者情報の確認等に利用されている。</p> <p>監査情報システムは、平成18年度から21年度までに開発費として約2億円、運用経費として毎年約3,000万円から4,000万円の費用を掛けて運用されている。</p> <p>【調査結果】</p> <p>監査情報システムには、事業者情報として、道路運送事業者の事業者名、電話番号、営業所名称、処分状況等が入力されている。</p> <p>しかし、監査情報システムには監査方針の細部取扱いに定められた「新規許可事業者」や「原因及び区分が同一の事故を3回以上繰り返す」といった具体的な監査対象の選定基準を指定して事業者を抽出する機能がない。このため、各地方運輸局等は、監査対象事業者の抽出の際に、監査情報システムを利用しておらず、紙の事業者台帳を1枚ずつめくりながら確認するという、非効率な方法を採用している。</p> <p>その理由について、国土交通省は、①「新規許可事業者」や「原因及び区分が同一の事故を3回以上繰り返す」といった抽出条件となり得る監査基準を定める監査方針の細部取扱いは、平成14年の発出以降21年10月までに累次の改正がされており、将来的にも改正される可能性があり、改正の度に監査情報システムの改修も必要となることや、②改修には約1,500万円の費用が掛かること、③他に優先する改修事項があることを挙げている。</p> <p>しかし、監査対象事業者の監査の実施状況を調査したところ、運輸支局では紙台帳により監査対象事業者を選定しており、失念や引き継ぎミスによる3件の新規許可事業者の把握漏れがみられた。</p> <p>(失念や引き継ぎミスにより新規許可事業者の把握漏れがみられた例)</p> <p>【事例1】 広島運輸支局</p> <p>貸切バス事業者Adは、平成18年4月28日の貸切バス事業の許可取得時には小型バス1台により、業務の範囲を冠婚葬祭時の輸送に限っていたが、19年4月23日に事業計画の変更認可申請により、大型バス5台及び中型車</p>	<p>表Ⅱ-4-(2)-① 監査情報システムの開発及び維持管理費等に係る事業費の経年推移</p>

1 台による事業となった。しかし、同局は当該事業者を監査の対象としていなかった。

これについて、広島運輸支局は、平成 19 年度の事業計画の変更認可申請により監査対象とすべきであったが、失念していたため監査対象としていなかったとしている。

【事例 2】 香川運輸支局

香川運輸支局では、平成 18 年から 19 年までの間に貸切バス事業者 Bw 及び貸切バス事業者 Ev の 2 事業者が貸切バス事業の許可を受けているが、同局はこれらの事業者を監査の対象としていなかった。

これについて、香川運輸支局は、担当者の引き継ぎミスによるものとしている。なお、香川運輸支局では当省の指摘後、これら 2 事業者について監査を実施している。

【所見】

したがって、国土交通省は、監査対象を効率的かつ確実に把握するため、監査情報システムに選定基準を指定して監査対象事業者を抽出する機能を付加する必要がある。

表Ⅱ－４－(2) 監査情報システムの開発及び維持管理費等に係る事業費の経年推移

(単位：千円)

年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
開発費	115,143	41,180	28,409	15,482
開発内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運行管理者情報 ・整備管理者情報 ・特別講習情報 ・監査情報 <p style="text-align: right;">の追加等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所台帳画面における車両数履歴表示 ・カレンダー表示 ・車庫情報等削除時の履歴情報 <p style="text-align: right;">の追加等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車両数抽出機能 ・協会加入状況 ・CSV 出力機能 <p style="text-align: right;">の追加等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導状況 ・社会保険加入状況 <p style="text-align: right;">の追加等</p>
運用経費	30,691	28,346	43,346	40,728

(注) 1 国土交通省提出の資料に基づき、当省が作成した。

2 平成 20 年度以降は監査情報システムのバックアップの追加とメモリの増強のため、運用経費が増加している。